学校番号	403

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版「生物」（数研出版）						
副教材等	スクエア最新図説生物 neo　　問題集「セミナー生物」（第一学習社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物に接することで、生物の一員「ヒト」である自分自身についてもよく理解し、関心をもってもらいたい。１年次の「生物基礎」に引き続き、生命現象や環境について観察し、論理的に考え、実験などを通して自然を理解し、大切にしていく姿勢を身につける。さらに、生物学についての深い知識を得ることで、より専門的な生物への好奇心と探究心をもって学んでいって欲しい。

2　学習の到達目標

生物のもつ様々な機能や共通点、さらには生物と自然との関わりに興味をもち、理解する。生態系の中の生物の位置づけを考え、生命や自然を尊重する態度を身につける。また、生物と環境とのつながりや影響力に気付き、地球環境の保全に寄与するための知識を自分のものとする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生物と自然の関わりとその性質について、興味をもち、科学的に探求していく。	生物、自然に対して、常に問題意識を持ち科学的なアプローチで思考した上で、その考えをまとめ、表現することができるか。	生物や自然現象についての実験、実習を行い、実験中の観察力や操作ﾃﾞｰﾀのまとめを通して、科学的は探求心を身につける。	生物や自然現象について基本的なしくみを理解し、多くの知識を習得する。それを様々な場面で応用して考えることができるか。
評価方法	学習状況 学習意欲 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 実験、発言	学習状況 学習意欲 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 実験、観察力 発表 定期考査	学習状況 学習意欲 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 実験、観察力 考察力	学習状況 学習意欲 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 実験、総合力 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生命現象と物質	・細胞と分子	○				a:生命を構成する物質に関心をもつ b:代謝の重要性を理解しまとめる c:遺伝現象を整理しまとめる d:遺伝の基本を確実に理解する	学習意欲 提出物 発表 定期考査
		・代謝		○				
		・遺伝情報の発現			○	○		
	生殖と発生	・生殖	○				a:様々な生殖について関心をもつ b:動物の生殖・発生の特徴を理解する c:植物の生殖・発生の特徴を理解する d:植物の生活ｻｲｸﾙの意味と特徴を理解する	学習意欲 提出物 発表 定期考査
		・動物の生殖と発生		○				
		・植物の生殖と発生			○	○		
2学期	生物の環境応答	・動物の反応と行動	○	○			a:動物の行動に関心を持つ b:動物の行動の共通性を考える c:植物ホルモンの実験について理解する d:植物の環境応答に関する意義を理解する	学習意欲 提出物 発表 定期考査
		・植物の環境応答			○	○		
	生態と環境	・生物の生活と環境	○				a:生態系内の生物について興味を持つ b:個体群について数理的に考える c:生態系の保全について成すべきことをまとめる d:生態系の保全について理解する	学習意欲 提出物 発表 定期考査
		・個体群と生物群集		○				
		・生態系			○	○		
3学期	生物の進化と系	・生物の進化と生命の起源	○				a:進化の過程に興味を持つ b:進化のしくみについて探究する c:生物の系統を図にまとめる d:生物の分類を理解する	学習意欲 提出物 発表 定期考査
		・進化とそのしくみ		○				
		・生物の系統			○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。